

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期連結累計期間（平成21年1月1日から平成21年3月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成22年1月1日から平成22年3月31日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年3月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結累計期間（平成21年1月1日から平成21年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第1四半期連結会計期間（平成22年1月1日から平成22年3月31日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,537	19,583
受取手形及び売掛金	196,889	274,558
商品及び製品	69,591	64,499
原材料及び貯蔵品	33,946	32,943
繰延税金資産	11,333	11,175
その他	32,245	32,952
貸倒引当金	△6,258	△7,665
流動資産合計	356,285	428,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	417,449	416,590
減価償却累計額	△230,337	△227,437
建物及び構築物（純額）	187,112	189,152
機械装置及び運搬具	535,507	531,835
減価償却累計額	△378,997	△370,910
機械装置及び運搬具（純額）	156,510	160,924
その他	139,180	136,608
減価償却累計額	△80,116	△78,393
その他（純額）	59,063	58,215
土地	184,460	184,433
建設仮勘定	6,609	6,382
有形固定資産合計	593,755	599,108
無形固定資産		
のれん	100,152	100,314
その他	40,204	40,427
無形固定資産合計	140,356	140,741
投資その他の資産		
投資有価証券	209,437	206,364
繰延税金資産	20,899	21,021
その他	42,293	42,701
貸倒引当金	△4,125	△4,332
投資その他の資産合計	268,505	265,755
固定資産合計	1,002,618	1,005,605
資産合計	1,358,903	1,433,652

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	77,522	100,998
短期借入金	171,301	141,220
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
未払酒税	77,129	123,470
未払法人税等	1,146	24,096
預り金	19,222	20,429
コマーシャル・ペーパー	35,000	30,000
賞与引当金	6,905	2,559
その他	99,491	116,005
流動負債合計	502,718	573,780
固定負債		
社債	130,153	130,156
長期借入金	73,941	75,499
退職給付引当金	24,184	24,252
役員退職慰労引当金	543	602
繰延税金負債	4,873	4,860
その他	46,515	46,798
固定負債合計	280,211	282,169
負債合計	782,929	855,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	182,531	182,531
資本剰余金	150,988	151,048
利益剰余金	247,050	252,146
自己株式	△29,064	△29,283
株主資本合計	551,506	556,443
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,649	2,444
繰延ヘッジ損益	1	△6
為替換算調整勘定	18,078	14,591
評価・換算差額等合計	20,729	17,029
少数株主持分	3,738	4,229
純資産合計	575,973	577,702
負債純資産合計	1,358,903	1,433,652

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	277,404	284,121
売上原価	184,373	184,472
売上総利益	93,031	99,648
販売費及び一般管理費	※1 97,972	※1 102,106
営業損失(△)	△4,940	△2,458
営業外収益		
受取利息	53	64
受取配当金	38	160
持分法による投資利益	2,506	1,972
その他	1,381	421
営業外収益合計	3,979	2,619
営業外費用		
支払利息	1,035	1,104
その他	939	※2 938
営業外費用合計	1,975	2,043
経常損失(△)	△2,937	△1,881
特別利益		
固定資産売却益	12	625
投資有価証券売却益	0	7
関係会社株式売却益	94	—
貸倒引当金戻入額	1,024	1,534
持分変動利益	—	726
特別利益合計	1,131	2,893
特別損失		
固定資産除売却損	146	523
投資有価証券売却損	0	5
投資有価証券評価損	168	187
特別損失合計	315	715
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,120	296
法人税等	※3 △274	※3 821
少数株主損失(△)	△881	△529
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△964	4

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,120	296
減価償却費	13,490	14,787
のれん償却額	935	1,622
退職給付引当金の増減額(△は減少)	83	△265
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△678	△1,654
受取利息及び受取配当金	△91	△225
支払利息	1,035	1,104
持分法による投資損益(△は益)	△2,506	△1,972
投資有価証券評価損益(△は益)	168	187
固定資産除売却損益(△は益)	134	△101
売上債権の増減額(△は増加)	69,983	78,217
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,162	△5,802
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,874	△23,860
未払酒税の増減額(△は減少)	△45,476	△46,343
その他	△11,471	△14,002
小計	△4,550	1,985
利息及び配当金の受取額	68	4,595
利息の支払額	△554	△650
法人税等の支払額	△22,632	△24,255
営業活動によるキャッシュ・フロー	△27,669	△18,325
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,174	△6,352
無形固定資産の取得による支出	△1,764	△1,476
投資有価証券の取得による支出	△7,922	△3,669
子会社株式の売却による収入	141	—
貸付けによる支出	△1,367	△577
貸付金の回収による収入	521	940
その他	△1,412	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,977	△11,176
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	57,323	34,945
リース債務の返済による支出	—	△581
長期借入れによる収入	2,648	137
長期借入金の返済による支出	△2,807	△2,120
自己株式の取得による支出	△13	△6
配当金の支払額	△4,880	△5,115
少数株主からの払込みによる収入	542	—
その他	881	985
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,693	28,245

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	102	142
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,148	△1,114
現金及び現金同等物の期首残高	12,697	18,082
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	475	—
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	2
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 20,322	※ 16,970

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
1 連結の範囲の変更	(1) 連結範囲の変更 当第1四半期連結会計期間から、アサヒビール保険サービス(株)は連結子会社との合併のため、連結の範囲から除外しております。 (2) 変更後の連結子会社数 54社
2 持分法適用の範囲の変更	(1) 持分法適用関連会社の変更 当第1四半期連結会計期間から、江蘇聖果葡萄酒業有限公司は重要性が増したため、持分法の適用の範囲に含めております。 (2) 変更後の持分法適用会社数 非連結子会社1社、関連会社34社

【簡便な会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
1 一般債権の貸倒見積高の算定方法	一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。
2 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。
3 棚卸資産の評価方法	当社及び一部の連結子会社は、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
1 税金費用の計算	税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)			前連結会計年度末 (平成21年12月31日)		
偶発債務 保証債務 銀行借入に対する保証債務等			偶発債務 保証債務 銀行借入に対する保証債務等		
被保証者	保証金額 (百万円)	摘要	被保証者	保証金額 (百万円)	摘要
康師傅飲品控股有限公司	537	銀行借入	康師傅飲品控股有限公司	574	銀行借入
従業員	283	銀行借入	従業員	313	銀行借入
その他2件	239	銀行借入	その他3件	388	銀行借入
合計	1,060		合計	1,276	

(四半期連結損益計算書関係)

第1四半期連結累計期間

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
※1	販売費及び一般管理費の内訳 販売奨励金及び手数料 31,536 百万円 広告宣伝費 15,748 " 運搬費 7,413 " 従業員給与・手当・賞与 14,583 " 退職給付費用 1,625 " 減価償却費 2,047 " のれん償却費 935 "	販売費及び一般管理費の内訳 販売奨励金及び手数料 32,497 百万円 広告宣伝費 13,757 " 運搬費 8,078 " 従業員給与・手当・賞与 16,555 " 退職給付費用 1,545 " 減価償却費 3,359 " のれん償却費 1,516 "
※2	—————	営業外費用その他の中に、持分法適用関連会社の持株会社で発生しているのれん償却額106百万円が含まれております。
※3	法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。	同左
4	季節要因による影響について 当グループの業績は、主要な事業である酒類、飲料事業の需要が特に夏季に集中するため、季節変動があります。特に第1四半期は、需要が通期で最も少ない時期であります。	同左

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
※	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
	現金及び預金 19,319百万円	現金及び預金 18,537百万円
	預金期間が3ヶ月超の定期預金 $\Delta 1,259$ "	預金期間が3ヶ月超の定期預金 $\Delta 1,567$ "
	有価証券 2,261 "	現金及び現金同等物 <u>16,970百万円</u>
	現金及び現金同等物 <u>20,322百万円</u>	

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成22年3月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末 (平成22年3月31日)
普通株式(株)	483,585,862

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末 (平成22年3月31日)
普通株式(株)	18,438,024

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年3月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	5,115	11.00	平成21年12月31日	平成22年3月29日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計年度の末日後となるもの
該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

摘要							
	酒類 (百万円)	飲料 (百万円)	食品・薬品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	179,633	63,106	20,838	13,826	277,404	—	277,404
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,695	274	492	11,238	15,701	(15,701)	—
計	183,328	63,381	21,330	25,065	293,105	(15,701)	277,404
営業費用	184,972	65,972	21,678	25,485	298,109	(15,764)	282,345
営業損失(△)	△1,644	△2,591	△347	△420	△5,004	63	△4,940

(注) 1. 事業区分は、製品の種類、性質により区分しております。

2. 各事業の主な製品 (1)酒 類……………ビール、発泡酒、焼酎、ウイスキー他
(2)飲 料……………清涼飲料他
(3)食品・薬品……………食品事業、薬品事業
(4)そ の 他……………不動産事業、外食事業、卸事業、物流事業他

3. 当第1四半期連結累計期間における営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額はありません。

4. 会計処理の原則・手続、表示方法の変更
「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

棚卸資産の評価基準及び評価方法について、商品、製品及び半製品については、主として総平均法による原価法、原材料及び貯蔵品については、主として移動平均法による原価法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、それぞれ主として総平均法による原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)、主として移動平均法による原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比較して営業損失が酒類事業で137百万円、飲料事業で233百万円、食品・薬品事業で69百万円及びその他事業で0百万円それぞれ増加しております。

5. 追加情報

有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び国内連結子会社は、平成20年の法人税改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、当第1四半期連結会計期間より有形固定資産の耐用年数を変更しております。この結果、従来の方法によった場合と比較して営業損失が酒類事業で1,560百万円及び飲料事業で4百万円それぞれ増加し、食品・薬品事業で22百万円及びその他事業で0百万円それぞれ減少しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

摘要							
	酒類 (百万円)	飲料 (百万円)	食品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	168,702	79,801	21,290	14,326	284,121	—	284,121
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,378	160	417	11,052	14,008	(14,008)	—
計	171,081	79,961	21,708	25,378	298,129	(14,008)	284,121
営業費用	170,844	82,718	21,620	25,887	301,071	(14,492)	286,579
営業利益又は営業損失(△)	236	△2,756	87	△509	△2,941	483	△2,458

(注) 1. 事業区分は、製品の種類、性質により区分しております。

2. 各事業の主な製品 (1)酒 類……………ビール、発泡酒、焼酎、ウイスキー他

(2)飲 料……………清涼飲料他

(3)食 品……………食品事業、薬品事業

(4)そ の 他……………不動産事業、外食事業、卸事業、物流事業他

3. 当第1四半期連結累計期間における営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額はありません。

4. 当第1四半期連結会計期間より、従来の「食品・薬品」について「食品」へ名称を変更いたしました。
なお、当該変更は、名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメントの情報を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメントの情報を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末 (平成21年12月31日)
1株当たり純資産額 1,230.22 円	1株当たり純資産額 1,233.25 円

2 1株当たり四半期純利益又は四半期純損失及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
1株当たり四半期純損失 Δ 2.08 円	1株当たり四半期純利益 0.01 円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 ー 円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 0.01 円

(注) 1. 1株当たり四半期純利益又は四半期純損失及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益又は四半期純損失(△)(百万円)	Δ 964	4
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失(△)(百万円)	Δ 964	4
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	464,833	465,117
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に用いられた四半期純利益調整額の主要な内訳(百万円)	—	—
四半期純利益調整額(百万円)	—	—
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に用いられた普通株式増加数(千株)	—	534
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含まれなかった潜在株式について前連結会計年度末から重要な変動がある場合の概要	—	—

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、前第1四半期連結累計期間において、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第1四半期連結会計期間
(自 平成22年1月1日
至 平成22年3月31日)

当社は、平成22年1月22日開催の取締役会決議に基づき、第32回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）を平成22年4月20日に条件決定し、平成22年4月27日に発行いたしました。その内容は以下のとおりであります。

アサヒビール株式会社第32回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）

- | | |
|-------------|---|
| (1) 発行総額 | 20,000百万円 |
| (2) 発行価格 | 各社債の金額100円につき金100円 |
| (3) 償還価格 | 各社債の金額100円につき金100円 |
| (4) 償還の方法 | 本社債の元金は、平成27年4月27日にその総額を償還いたします。ただし、本社債の買入消却は、払込期日の翌日以降いつでもこれを行なうことができます。 |
| (5) 利率 | 年0.633% |
| (6) 償還期限 | 平成27年4月27日 |
| (7) 払込期日 | 平成22年4月27日 |
| (8) 資金の使途 | 平成22年6月22日償還予定の第26回無担保社債15,000百万円の償還資金及び平成22年4月償還予定のコマーシャル・ペーパーの償還資金に充当します。 |
| (9) 担保又は保証 | ありません。 |
| (10) 財務上の特約 | 担保提供制限特約条項が付されております。 |

2【その他】

該当事項はありません。